

## 抗 Nup153 抗体, ラット モノクローナル (R4C8)

70-315 200ug

核膜孔複合体(NPC : nuclear pore complex)は核膜に隔てられた核質と細胞質との間の物質輸送を司る巨大分子複合体であり、ここを通過して高分子の核-細胞質間輸送が行われている。**Nup (Nucleoporin) 153**は大きな O-linked glycoprotein で NPC の核側周辺構造である“核バスケット”の構成タンパク質である。**Nup153** は RNA およびタンパク質の核外移行に重要な役割を果たしていると考えられる。

抗 **Nup153** 抗体は無血清培地で培養されたラット・ハイブリドーマの培地より独自のクロマトなどのマイルドな方法によって精製されたものである。

### 用途:

1. ウェスタンブロッティング(HeLa 細胞抽出液において 160 kDa の単一バンドとして検出される)
2. 免疫細胞化学
3. ELISA

他の用途は試していない。

その他のコメント: R4C8 抗体を HeLa 細胞の核に注入するとこの抗体は核膜孔に集積する。この抗体は免疫細胞化学に非常に有効である (図 2 と 3)。

**抗原:** リコンビナント GST-融合ラット Nup153 (610-1191aa)

**エピトープ:** 610-1191 aa (Zn finger および FG リピートドメイン)

**アイソタイプ:** ラット IgG2aκ

**形状:** 精製モノクローナル抗体 (IgG) 1mg/ml in PBS, 50% glycerol, 濾過滅菌

**反応特異性:** ヒト、マウス、ラット、モンキーの 153 タンパク質。その他の種はテストしていない。

**保存:** 4℃または-20℃で送付、-20℃で保存。

**データリンク:** Swiss-Prot [P49790](#) (ヒト)

### 文献:

1. Ullman KS *et al* "The nucleoporin Nup153 plays a critical role in multiple types of nuclear export." *Molecular Biology of the Cell* **10**: 649-664 (1999) PMID: [10069809](#)
2. Lim RY *et al* "Nanomechanical basis of selective gating by the nuclear pore complex." *Science* **318**: 640-643 (2007) PMID: [17916694](#)

次ページへ

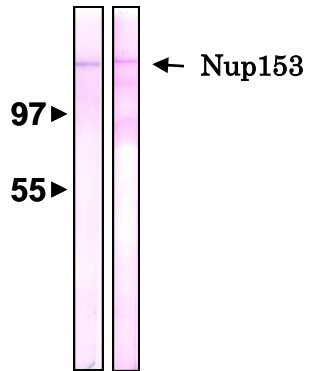


図1 R4C8抗体を用いたウエスタンブロッティングによるNup153の検出  
サンプルはHeLa細胞(左図)とNIH3T3細胞(右図)の核膜分画

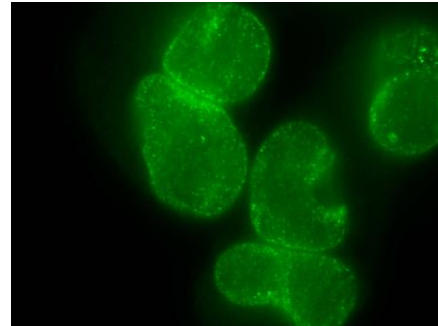


図2 R4C8抗体によるHeLa細胞の免疫蛍光染色

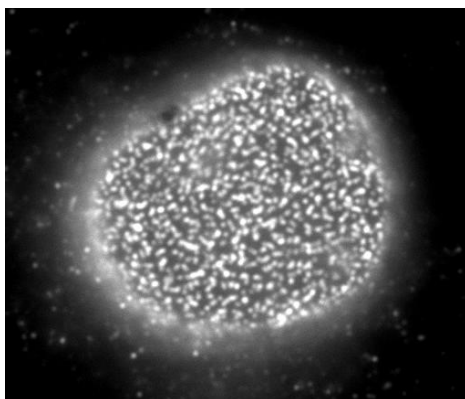


図3 R4C8抗体によるラットニューロンの免疫蛍光染色  
ドットはNup153